



コール ピックアップ グループ

コール ピックアップ機能を使用すると、自分の電話番号以外の番号に着信したコールに応答できます。この機能については、[P.10-2](#)の「[コール ピックアップ グループの概要](#)」で説明します。

ここでは、次のトピックについて説明します。

- [コール ピックアップ グループの概要 \(P.10-2\)](#)
- [コール ピックアップ グループのシステム要件 \(P.10-5\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.10-5\)](#)
- [コール ピックアップ グループのインストールとアクティブ化 \(P.10-8\)](#)
- [コール ピックアップ グループの設定 \(P.10-8\)](#)
- [関連項目 \(P.10-18\)](#)

コールピックアップグループの概要

Cisco IP Phone では、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップという3つのタイプのコールピックアップを使用できます。

- **コールピックアップ**：ユーザは、本人が所属するグループ内の着信コールを受けることができます。Cisco CallManager は、ユーザが Cisco IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、適切なコールピックアップグループ番号を自動的にダイヤルします。このタイプのコールピックアップには、PickUp ソフトキーを使用します。
- **グループコールピックアップ**：ユーザは、別のグループ内の着信コールを受けることができます。ユーザは、Cisco IP Phone からこの機能をアクティブにするときに、適切なコールピックアップグループ番号をダイヤルする必要があります。このタイプのコールピックアップには、GPickUp ソフトキーを使用します。



(注) コールピックアップ機能とグループコールピックアップ機能の設定手順は同じです。グループコールピックアップ番号は、回線または電話番号に適用されます。

- **他グループコールピックアップ**：ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループ内の、着信コールを受けることができます。Cisco CallManager は、ユーザが Cisco IP Phone からこの機能をアクティブにしたときに、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索して、コール接続を確立します。このタイプのコールピックアップには、oPickup ソフトキーを使用します。

関連付けられたグループが複数存在する場合、関連付けられたグループへのコールに応答する際の優先順位は、関連付けられた最初のグループから最後のグループまでの順になります。たとえば、グループ A、B、および C がグループ X に関連付けられており、コールに応答する際の優先順位がグループ A、B、および C の順になっているとします。グループ A の着信コールよりも前にグループ C にコールが着信している可能性があります。グループ X は最初にグループ A の着信コールを受けます。



(注) 通常、同じグループ内で複数の着信コールが発生した場合は、呼び出し音が最も長く鳴っている（呼び出し時間が最も長い）コールが最初に応答されます。他グループコールピックアップの場合、関連付けられたピックアップグループが複数設定されているときは、呼び出し時間よりも優先順位が優先されます。

アイドルおよびオフフックのコール状態では、Pickup、GPickup、および oPickup の3つのソフトキーが使用可能になります。管理者は、ユーザがコールピックアップ機能呼び出せるよう、これらのソフトキーを標準ソフトキーテンプレートに追加する必要があります。P.10-8 の「[コールピックアップグループの設定チェックリスト](#)」および P.10-10 の「[他グループコールピックアップの設定チェックリスト](#)」を参照してください。

自動コールピックアップ

Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータを有効にすると、コールピックアップ、グループピックアップ、および他グループピックアップを自動化できます。

このパラメータが有効になっている場合、ユーザが電話機の該当するソフトキーを押すと、Cisco CallManager は、ユーザが所属するピックアップグループ、別のピックアップグループ、またはユーザが所属するグループに関連付けられたピックアップグループ内の着信コールにユーザを自動的に接続します。このアクションに必要なキーストロークは1回のみです。

自動コール ピックアップは、ユーザを本人が所属するグループの着信コールに接続します。ユーザが電話機の Pickup ソフトキーを押すと、Cisco CallManager はグループ内の着信コールを特定し、コール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に Pickup ソフトキーと Answer ソフトキーを押す必要があります。

自動グループ コール ピックアップは、ユーザを別のピックアップ グループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の GPickUp ソフトキーを押し、別のピックアップ グループの DN をダイヤルします。DN を受信すると、Cisco CallManager はコール接続を行います。自動グループ コール ピックアップが有効でない場合、ユーザは GPickUp ソフトキーを押して別のピックアップ グループの DN にダイヤルし、コールに応答して接続を確立する必要があります。

自動他グループ コール ピックアップでは、ユーザを本人が所属するグループに関連付けられたグループの着信コールに接続します。ユーザは電話機の oPickup ソフトキーを押します。Cisco CallManager は、Pickup Group Configuration ウィンドウに管理者が入力した順序で、関連付けられたグループ内の着信コールを自動的に検索し、コールが見つかったらコール接続を行います。自動化が有効でない場合、ユーザはコール接続の際に oPickup ソフトキーと Answer ソフトキーを押す必要があります。



(注) CTI アプリケーションでは、コールに応答している通話者を監視できます。しかし、ピックアップの要求者または応答されたコールの着信先を監視することはできません。したがって、Cisco IPMA では自動コール ピックアップ（ワンタッチ コール ピックアップ）は使用できません。

応答なし時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が false に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、その電話機で設定されたコール転送は、いずれかのピックアップ ソフトキーが押されると無視されます。コール ピックアップの要求者がコールに応答しない場合、ピックアップ応答なしタイマーが時間切れになった後に元のコールが復元されます。

ビジー時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が false に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、コール ピックアップの要求者の電話機がビジーのときに、元のコールが復元されます。

帯域幅不足時のコール ピックアップ

サービス パラメータ Auto Call Pickup Enabled が false に設定されているときにコール ピックアップが発生した場合、コール発信者と要求者の電話機の間帯域幅が不足していると、元のコールが復元されます。

追加情報

P.10-18 の「[関連項目](#)」を参照してください。

パーティションによりアクセスを制限するコールピックアップ機能の使用

コールピックアップグループ番号にパーティションを割り当てると、コールピックアップグループへのアクセスを制限できます。この設定を使用すると、コールピックアップグループ番号のあるパーティションをコーリングサーチスペースに含んでいる電話機だけが、そのコールピックアップグループに加入できます。パーティションとグループ番号の組み合わせは、システム全体で一意になるようにしてください。

- コールピックアップグループ番号がパーティションに割り当てられていると、そのパーティション内の番号をダイヤルできる電話機だけが、そのコールピックアップグループを使用できる。
- パーティションがマルチテナント構成のテナントに相当する場合は、各テナントに該当するパーティションに対してピックアップグループを割り当てる必要がある。

マルチテナント構成は、コールピックアップグループでパーティションを使用する例になります。ピックアップグループをテナントごとに適切なパーティションに割り当てると、グループ番号が他のテナントに表示されなくなります。

コール ピックアップ グループのシステム要件

コール ピックアップ グループが動作するには、次のソフトウェア コンポーネントが必要です。

- Cisco CallManager 5.0

次の SCCP 電話機と SIP 電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキー テンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pickup (GPickUp) ソフトキーで、コール ピックアップ グループをサポートしています。

- CiscoIP Phone (モデル 7941、7961、7970、7971)

次の SCCP 電話機は、Standard User と Standard Feature のソフトキー テンプレートの Pick Up (PickUp) ソフトキーと Group Pickup (GPickUp) ソフトキーでコール ピックアップ グループをサポートしています。

- Cisco IP Phone (モデル 7905、7912、7920、7940、7960)



(注)

管理者は、ソフトキー テンプレートに Other Pickup (oPickup) ソフトキーを追加する必要があります。

インタラクションおよび制限事項

次の項では、コール ピックアップ におけるインタラクションおよび制限事項について説明します。

- [インタラクション \(P.10-5\)](#)
- [制限事項 \(P.10-7\)](#)

インタラクション

次の各項では、コール ピックアップ グループが Cisco CallManager アプリケーションおよびコール 処理とどのように通信するかを説明します。

- [ルート プラン レポート \(P.10-5\)](#)
- [コーリング サーチ スペースとパーティション \(P.10-6\)](#)
- [Time of Day \(P.10-6\)](#)
- [コール アカウンティング \(P.10-6\)](#)
- [Dependency Records \(P.10-6\)](#)

ルート プラン レポート

ルート プラン レポートには、Cisco CallManager で設定されているパターンと電話番号が示されま す。コール ピックアップ グループに電話番号を割り当てる前に、ルート プラン レポートを使用して、パターンと電話番号の重複を検索します。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」の章を参照してください。

コーリング サーチ スペースとパーティション

デバイスのコーリング サーチ スペースに基づいてユーザによるコールピックアップへのアクセスを制限するには、コールピックアップグループ番号をパーティションに割り当てます。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コーリング サーチ スペースの設定」および「パーティションの設定」を参照してください。

Time of Day

ユーザは、本人が所属するグループに関連付けられたグループのコールに応答するには、関連付けられたグループのメンバーに関するコーリング サーチ スペース、パーティション、および Time of Day (TOD) パラメータを設定することにより、本人が所属するグループと同じ時間帯にアクティブになってコールを受け入れることができるようにする必要があります。TOD は、タイム スタンブをコーリング サーチ スペースとパーティションに関連付けます。

たとえば、ABC というパーティションが午前 9 時～午後 5 時までアクティブになっているとします。コーリング サーチ スペース cssABC は、パーティション ABC を含んでいます。pickABC というピックアップグループには、電話機 1 と電話機 2 が含まれています。電話機 1 と電話機 2 は、同じコーリング サーチ スペース cssABC に存在します。電話機 1 の呼び出し音が午後 5 時 30 分に鳴り、電話機 2 がコールへの応答を試行する場合、午後 5 時以降はパーティションがアクティブになっていないため、この試行は失敗します。電話機 1 の呼び出し音が午前 9 時 30 分に鳴ると、電話機 2 はそのコールに応答できます。

コール アカウンティング

コールピックアップグループは、コールアカウンティングと通信します。

- 自動コールピックアップによってコールピックアップが発生すると、システムは 2 つの Call Detail Record (CDR; 呼詳細レコード) を生成します。一方の CDR はクリアされた元のコールに適用され、もう一方の CDR は接続された要求コールに適用されます。
- 自動でないコールピックアップによってコールピックアップが発生すると、システムは 1 つの呼詳細レコードを生成し、接続された要求コールにそれが適用されます。
- CDR 検索では、指定された特定の期間およびその他の検索条件に一致する CDR がすべて返されます。特定の CDR に関連付けられたコールのタイプがわかるよう、検索結果のコールタイプフィールドには、コールがピックアップコールかどうかが表示されます。

Dependency Records

特定のコールピックアップ番号が割り当てられているデバイスを検索する必要がある場合は、Cisco CallManager Administration Pickup Group Configuration ウィンドウにある Dependency Records リンクをクリックします。Dependency Records Summary ウィンドウには、そのコールピックアップ番号を使用しているデバイスに関する情報が表示されます。

ピックアップグループが他のピックアップグループに関連付けられている場合、そのピックアップグループの Dependency Records には、関連付け情報が表示されます。たとえば、ピックアップグループ A がピックアップグループ B およびピックアップグループ C に関連付けられている場合、ピックアップグループ A の Dependency Record には、ピックアップグループ B およびピックアップグループ C に対するピックアップグループ A の関連付けに関する情報が表示されます。

デバイスに関する詳細な情報を調べるには、デバイスをクリックします。Dependency Records Details ウィンドウが表示されます。Dependency Records がシステムで使用できない場合は、Dependency Records - Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。

Dependency Record の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「Dependency Records へのアクセス」の章を参照してください。

制限事項

コール ピックアップ グループには、次の制限事項があります。

- ある特定の電話機に割り当ててある異なる回線を異なるコール ピックアップ グループに割り当てることは可能ですが、ユーザの混乱を招く原因になるため、この設定はお勧めしません。
- 回線または電話番号に割り当てられているコール ピックアップ グループ番号を削除することはできません。コール ピックアップ 番号を使用している回線を調べるには、Dependency Record を使用します。コール ピックアップ 番号を削除するには、各回線または各電話番号に新しいコール ピックアップ グループ番号を割り当て直す必要があります。
- コール ピックアップ グループ番号を更新すると、そのコール ピックアップ グループに割り当てられているすべての電話番号が自動的に更新されます。
- Cisco CallManager Attendant Console は、コール ピックアップ グループ機能に対応していません。Attendant Console ユーザ インターフェイスでは、JTAPI と CTI の制限により、コール ピックアップ グループに属する電話機から発信されるコールまたはその電話機に着信するコールを正しく処理できません。

コール ピックアップ グループのインストールとアクティブ化

システム機能のコール ピックアップ グループは、Cisco CallManager ソフトウェアに標準で備わっています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

コール ピックアップ グループの設定

この項の内容は次のとおりです。

- コール ピックアップ グループの設定チェックリスト (P.10-8)
- 他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト (P.10-10)
- コール ピックアップ グループのサービス パラメータの設定 (P.10-11)
- コール ピックアップ グループの検索 (P.10-12)
- コール ピックアップ グループの設定 (P.10-13)
- コール ピックアップ グループの設定項目 (P.10-14)
- コール ピックアップ グループの削除 (P.10-15)
- 他グループ コール ピックアップのピックアップ グループの定義 (P.10-16)
- 電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て (P.10-16)

コール ピックアップ グループの設定チェックリスト

表 10-1 に、コール ピックアップ グループを設定する際のチェックリストを示します。

表 10-1 コール ピックアップ グループの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 コール ピックアップ グループでパーティションを使用する場合は、パーティションを設定します。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」 パーティションによりアクセスを制限するコール ピックアップ機能の使用 (P.10-4)
ステップ 2 コール ピックアップ グループを設定します。名前と番号は一意にしてください。	コール ピックアップ グループの設定 (P.10-13)
ステップ 3 ステップ 2 で作成したコール ピックアップ グループを、コール ピックアップを有効にする電話機に関連付けられた電話番号に割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • コール ピックアップ グループに割り当てられた電話番号だけが、コール ピックアップ機能を使用できます。 • コール ピックアップ番号でパーティションを使用する場合は、コール ピックアップグループに割り当てられた電話番号が、適切なパーティションを含むコーリングサーチスペースを持つようにしてください。 	電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て (P.10-16)
ステップ 4 必要に応じて、電話機ボタンテンプレートにコール ピックアップ ボタンまたはグループ コール ピックアップ ボタンを追加します。 この操作が必要になるのは、Cisco IP Phone モデル 12 SP、12 SP+、および 30 VIP だけです。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」

表 10-1 コール ピックアップ グループの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<p>ステップ 5 Pickup (PickUp) と Group Call Pickup (GPickUp) のソフトキーを使用する電話機に、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを割り当てます。</p>  <p>(注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキー テンプレートの GPickUp ソフトキーまたは oPickup ソフトキーを Softkey Configuration ウィンドウの Unselected ボックスに移動して無効にします。</p>	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」
<p>ステップ 6 コール ピックアップ グループに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータの値に True を選択して有効にします。デフォルトは False です。</p>	<p>自動コール ピックアップ (P.10-2)</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」</p>
<p>ステップ 7 Auto Call Pickup Enabled サービス パラメータが False の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービス パラメータの値を入力します。コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、または他グループ コール ピックアップを使用してコールを受けた場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。</p>	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」
<p>ステップ 8 Pickup Locating Timer サービス パラメータの値を入力します。このパラメータは、コール ピックアップ、グループ コール ピックアップ、および他グループ コール ピックアップでのコール選択の時間を制御します。</p>	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービス パラメータの設定」
<p>ステップ 9 コール ピックアップ機能が使用可能であることをユーザに通知します。</p>	ユーザが Cisco IP Phone でコール ピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

追加情報

P.10-18 の「関連項目」を参照してください。

■ コールピックアップグループの設定

他グループコールピックアップの設定チェックリスト

表 10-2 に、他グループコールピックアップを設定する際のチェックリストを示します。

表 10-2 他グループコールピックアップの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 すべてのピックアップグループから選択可能な、関連付けられたグループのリストを設定します。リストには最大 10 のグループを含めることができます。	他グループコールピックアップのピックアップグループの定義 (P.10-16)
ステップ 2 ユーザのグループに関連付けられたグループのメンバーに関する Calling Search Space パラメータと TOD パラメータを設定します。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コーリングサーチスペースの設定」 『Cisco CallManager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「タイムスケジュールの設定」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「時間帯 (Time Period) の設定」
ステップ 3 他グループコールピックアップに対して自動コール応答が必要な場合は、Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータの値に True を入力して有効にします。デフォルトは False です。	自動コールピックアップ (P.10-2) 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
ステップ 4 Auto Call Pickup Enabled サービスパラメータが False の場合は、Call Pickup No Answer Timer サービスパラメータの値を入力します。コールが他グループコールピックアップによってピックアップされた場合、このパラメータはコールの復元に要する時間を制御します。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」
ステップ 5 Pickup Locating Timer サービスパラメータの値を入力します。このパラメータは、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップでのコール選択の時間を制御します。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サービスパラメータの設定」

表 10-2 他グループ コール ピックアップの設定チェックリスト (続き)

設定手順	関連手順と関連項目
<p>ステップ 6 電話機に Other Group Pickup (oPickup) ソフトキーを設定するには、Standard User または Standard Feature ソフトキー テンプレートを変更して、その電話機に追加します。</p> <p>oPickup ソフトキーを含めるには、次の手順でテンプレートを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco CallManager Administration で Device > Device Settings > Softkey Template を選択します。 • 対象となるソフトキー テンプレートを選択します。 • Softkey Layout Configuration リンクを選択します。 • On Hook または Off Hook コール状態を選択します。 • Unselected Softkeys ボックスで oPickup を選択します。右矢印をクリックし、oPickup ソフトキーを Selected Softkeys ボックスに移動します。 <p> (注) コールを受ける電話機をユーザが所属するグループ内の電話機に限定するには、ソフトキー テンプレートで oPickup ソフトキーを無効にします。</p>	<p>『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』の「IP Phone へのソフトキー テンプレートの割り当て」</p>
<p>ステップ 7 コール ピックアップ グループ機能が使用可能であることをユーザに通知します。</p>	<p>ユーザが Cisco IP Phone でコール ピックアップ機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。</p>

追加情報

P.10-18 の「関連項目」を参照してください。

コール ピックアップ グループのサービス パラメータの設定

Cisco CallManager には、コール ピックアップ グループ用に、Auto Call Pickup Enabled、Call Pickup Locating Timer、および Call Pickup No Answer Timer の 3 つのクラスタ全体のサービス パラメータがあります。各サービス パラメータではデフォルトが設定されているので、特別な設定は必要ありません。

- Auto Call Pickup Enabled : デフォルトは False です。このパラメータは、自動コール ピックアップ機能が有効かどうかを決定します。有効にするには、このフィールドを True に設定します。
- Call Pickup Locating Timer : デフォルトは 1 秒です。このサービス パラメータは、クラスタ内のすべてのノードからピックアップ グループのすべてのアラート コールを取得するために、ピックアップが待機する最大時間を秒単位で指定します。
- Call Pickup No Answer Timer : デフォルトは 12 秒です。このパラメータは、ピックアップ要求を開始したユーザがコールを受けないことにした場合に、元のコールを復元するまでに待機する最大時間を秒単位で指定します。これは必須フィールドです。



(注) タイマーを設定するには、**System > Service Parameters** を選択し、Advanced アイコンを選択するか、Advanced ボタンをクリックして、**Clusterwide Parameters (Feature-Call Pickup)** ペインのフィールドを更新します。

追加情報

P.10-18 の「関連項目」を参照してください。

コールピックアップグループの検索

ネットワーク上には、複数のピックアップグループが存在する可能性があるため、Cisco CallManager は特定の条件に基づいて、コールピックアップグループを検索します。コールピックアップグループを検索するには、次の手順を実行します。

**(注)**

ブラウザセッションでの作業中、Cisco CallManager Administration は、コールピックアップグループの検索プリファレンスを保持します。他のメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、Cisco CallManager Administration によってコールピックアップグループの検索プリファレンスが保持されます。

手順

ステップ 1 Call Routing > Call Pickup Group を選択します。

Find and List Call Pickup Groups ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウン リストボックスを使用して、コールピックアップグループを検索します。

ステップ 2 1 つめの Find call pickup group where ドロップダウン リストボックスから、次の条件のうち1つを選択します。

- Call Pickup Group Number
- Call Pickup Group Name
- Partition

2 つめの Find call pickup group where ドロップダウン リストボックスから、次の条件のうち1つを選択します。

- begins with
- contains
- ends with
- is exactly
- is empty
- is not empty

ステップ 3 必要に応じて適切な検索文字を入力して、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の件数を指定できます。

**ヒント**

データベースに登録されているすべてのコールピックアップグループを検索するには、検索文字を入力せずに **Find** をクリックします。

検索されたコールピックアップグループのリストが、次の情報とともに表示されます。

- Call Pickup Group Name
- Call Pickup Group Number
- Partition

コール ピックアップ グループに関する情報を複製するための Copy アイコンも表示されます。



(注) コール ピックアップ グループの横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすることによって、Find and List Call Pickup Group ウィンドウから複数のコール ピックアップ グループを削除できます。電話番号および回線に割り当てられているコール ピックアップ グループを削除することはできません。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致するコール ピックアップ グループ名をクリックします。

選択したコール ピックアップ グループがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.10-18 の「[関連項目](#)」を参照してください。

コール ピックアップ グループの設定

ここでは、1 つのコール ピックアップ グループを追加、コピー、および更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 Call Routing > Call Pickup Group を選択します。

ステップ 2 次のいずれかの手順を実行します。

- 新しいコール ピックアップ グループを追加するには、**Add New** をクリックします。
- コール ピックアップ グループをコピーするには、P.10-12 の「[コール ピックアップ グループの検索](#)」の手順を使用して、コール ピックアップ グループを検索します。Copy アイコンをクリックします。
- コール ピックアップ グループを更新するには、P.10-12 の「[コール ピックアップ グループの検索](#)」の手順を使用して、コール ピックアップ グループを検索します。

Call Pickup Group Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力するか更新します (表 10-1 を参照)。

ステップ 4 新規コール ピックアップ グループまたは変更されたコール ピックアップ グループをデータベースに保存するには、**Save** をクリックします。

追加情報

P.10-18 の「[関連項目](#)」を参照してください。

コール ピックアップ グループの設定項目

表 10-3 に、コール ピックアップ グループの設定項目を示します。関連する手順については、P.10-18 の「関連項目」を参照してください。

表 10-3 ピックアップグループの設定項目

フィールド	説明
ピックアップグループ情報	
Pickup Group Name	最大で 30 文字の英数字を入力できます。たとえば、Operations のように指定します。ピックアップグループ名は、ピックアップグループ番号と関連付けられます。ピックアップグループはピックアップグループ名で選択できます。
Pickup Group Number	追加するコール ピックアップ グループ用の一意の電話番号（整数）を入力します。
Partition	<p>パーティションを使用してコール ピックアップ グループへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから希望のパーティションを選択します。コール ピックアップ グループへのアクセスを制限しない場合は、パーティションに <None> を選択します。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用すると、このドロップダウン リスト ボックスに表示されるパーティションの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定されたパーティションより多くのパーティションが存在する場合は、ドロップダウン リスト ボックスの横に省略記号 ボタン (...) が表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにパーティション名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるパーティションのリストで希望のパーティション名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) リスト ボックス項目の最大数を設定するには、System > Enterprise Parameters を選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。</p> <p> (注) コール ピックアップ グループ番号とパーティションの組み合わせが、Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
関連付けられたコール ピックアップ グループ情報：番号 / パーティションによるピックアップ番号の検索	
Partition	この表の「ピックアップグループ情報」にある「Partition」の説明を参照してください。
Call Pickup Group Numbers Contain	検索するピックアップグループの DN またはその一部を入力し、Find をクリックします。
Available Call Pickup Groups	Current Associated Call Pickup Groups Information 領域にある Associated Call Pickup Group リストにメンバーを追加するには、このリストから Call Pickup Group を選択し、Add to Associated Call Pickup Groups をクリックします。

表 10-3 ピックアップ グループの設定項目 (続き)

フィールド	説明
現在関連付けられているコール ピックアップ グループ	
Selected Call Pickup Groups	Call Pickup Groups リスト項目の順序を変更するには、このボックスの右側の上矢印と下矢印を使用して、リスト項目を移動します。リスト項目の順序を逆にするには、 Reverse Order of Selected Numbers をクリックします。このボックスから Removed Call Pickup Groups ボックスにコール ピックアップ グループを移動するには、このボックスの下にある上矢印と下矢印を使用します。
Removed Call Pickup Groups	このボックスから Selected Call Pickup Groups ボックスにコール ピックアップ グループを移動するには、このボックスの上にある上矢印と下矢印を使用します。

コール ピックアップ グループの削除

この項では、Cisco CallManager データベースからコール ピックアップ グループを削除する方法について説明します。

始める前に

回線または電話番号に割り当てられているコール ピックアップ グループ番号を削除することはできません。このコール ピックアップ グループを使用している電話番号のリストを表示するには、**Dependency Records** リンクをクリックします。Dependency Records がシステムで使用できない場合は、Dependency Records - Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Dependency Records へのアクセス」を参照してください。これらの電話番号のコール ピックアップを再び有効にするには、各電話番号を新しいコール ピックアップ グループに割り当て直す必要があります。詳細については、P.10-16 の「電話番号へのコール ピックアップ グループの割り当て」を参照してください。

手順

- ステップ 1** P.10-12 の「コール ピックアップ グループの検索」の手順を使用して、コール ピックアップ グループを検索します。
- ステップ 2** 削除するコール ピックアップ グループをクリックします。
- ステップ 3** Delete をクリックします。

そのコール ピックアップ グループが Call Pickup Group Find/List ウィンドウに表示されなくなります。

追加情報

P.10-18 の「関連項目」を参照してください。

他グループ コールピックアップのピックアップグループの定義

この項では、関連付けられたグループに対する着信コールに応答するために、ユーザのグループにコールピックアップグループを関連付ける方法について説明します。グループには、最大10のコールピックアップグループを関連付けることができます。関連付けられたグループのコールに応答する優先順位は、関連付けられたグループリストで最初に関連付けられたグループから最後に関連付けられたグループの順になります。表10-1の説明のように、Call Pickup Group Configuration ウィンドウのリストを編成できます。

手順

-
- ステップ 1** P.10-12の「[コールピックアップグループの検索](#)」の手順を使用して、グループを検索します。
 - ステップ 2** Call Pickup Group Configuration ウィンドウで、Associated Call Pickup Group Information 領域までスクロールします。
 - ステップ 3** 表10-1の説明に従って、フィールドに情報を入力します。
 - ステップ 4** Save をクリックします。
-

追加情報

P.10-18の「[関連項目](#)」を参照してください。

電話番号へのコールピックアップグループの割り当て

この項では、電話番号にコールピックアップグループを割り当てる方法について説明します。コールピックアップグループに割り当てられた電話番号だけが、コールピックアップ、グループコールピックアップ、および他グループコールピックアップを使用できます。

始める前に

電話番号にコールピックアップグループを割り当てる前に、P.10-13の「[コールピックアップグループの設定](#)」の説明に従ってコールピックアップグループを作成する必要があります。

手順

-
- ステップ 1** Device > Phone または Call Routing > Directory Number を選択します。
 - ステップ 2** コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を検索するための検索条件を入力し、Find をクリックします。

検索条件に一致した電話機または電話番号のリストが表示されます。
 - ステップ 3** コールピックアップグループに割り当てる電話機または電話番号を選択します。
 - ステップ 4** Directory Number Configuration ウィンドウを使用している場合は、[ステップ 6](#)に進んでください。
 - ステップ 5** Phone Configuration ウィンドウの Association Information リストから、コールピックアップグループを割り当てる電話番号を選択します。

ステップ 6 Call Forward and Call Pickup Settings 領域に表示される Call Pickup Group ドロップダウン リスト ボックスから、割り当て先のコール ピックアップ グループを選択します。

ステップ 7 変更をデータベースに保存するには、**Save** をクリックします。

追加情報

P.10-18 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [コールピックアップグループ \(P.10-1\)](#)
- [コールピックアップグループの検索 \(P.10-12\)](#)
- [コールピックアップグループの設定 \(P.10-13\)](#)
- [コールピックアップグループの設定項目 \(P.10-14\)](#)
- [コールピックアップグループの削除 \(P.10-15\)](#)
- [他グループコールピックアップのピックアップグループの定義 \(P.10-16\)](#)
- [電話番号へのコールピックアップグループの割り当て \(P.10-16\)](#)
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco IP Phone の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルートプラン レポート」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Time-of-Day ルーティング」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」
- *Cisco IP Phone アドミニストレーションガイド for Cisco CallManager*
- Cisco IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (すべてのモデル)